校長だより【63】探究学習発表会と 12 月の厚木東高校　030108

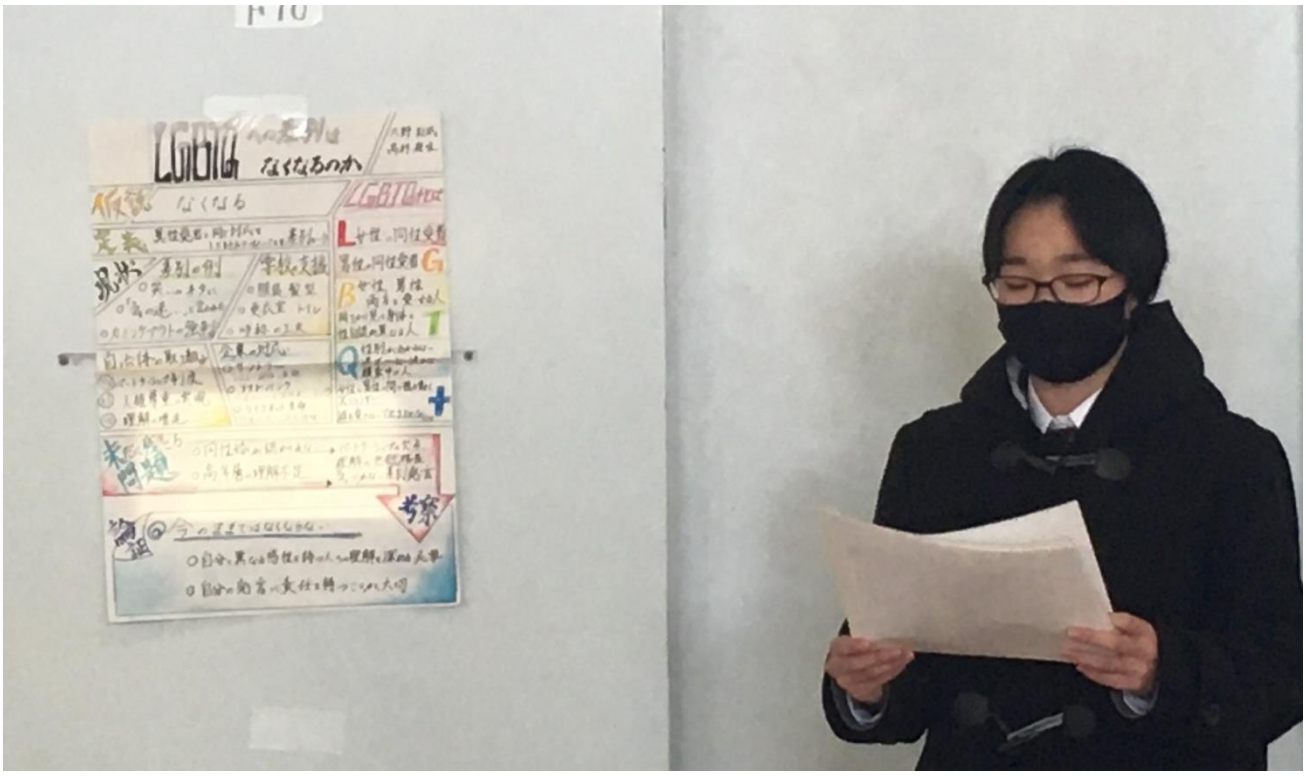
　12 月に入って最初の日曜日には今年度最後の「学校説明会」が視聴覚室で行われました。翌週が２学期の４日間の期末テストでした。それが終わって、テスト返しも済んだ３週目の 17～18 日、本校体育館で、１学年の『探究学習発表会』が行われました。総合的な探究の時間に、グループでテーマを決めて調べ考えたことを、ポスターセッションという形式で発表し合いました。

　感染拡大防止対策のため、学年を２つに分け、体育館の窓やドアを開け放って、防寒具着用可で行われました。本日は後半の３クラスです。あらかじめ壁に全グループのポスターを貼って、「ポスターセッション」を行いました。各グループが 10 分ほどで発表した後に、質疑応答タイムがあります。

　1st ラウンドが終わると、発表者とオーディエンス（聞き手）が順繰りに交代し、次のラウンドが始まるといった具合です。みな、緊張しながらもにこやかに、一生懸命取り組んでいました。

D8
なぜ英語が国際語なのか
D9
D10

F1



　最後に、進路支援グループリーダーの熊谷総括教諭、および、１学年の総合的な探究の時間の担当で、本校で初めて行なうこの ２ 日間の活動を企画してくれた松浦教諭のお二人から、発表会全体の講評がありました。

熊谷先生は、「出来上がった作品を見ればどれだけ頑張ったかがわかる。こうした活動にどれだけ一生懸命、全力を尽くして取り組めるかが大切だ。手を抜くか、精いっぱいやるか、３ 年間の積み重ねは、人生を大きく変える。」というお話をなさいました。１年生の心に深く沁みたように感じました。

松浦先生は、「1 番大切なのは、『テーマの設定』です。答のない問いについて探究する力が、これからますます求められてくる。３年生になった時、入試の面接や就職活動でもこのような取組が生きてくる。今回の経験を活かし２年時にはさらに発展させていこう！」と 1 年生の努力を称え、今後に向けて励ましました。

この後生徒たちは、各 HR に戻り、投票をしました。最優秀作品に選ばれた F 組の 2 人チーム大野さんと髙村さんは 12 月 25 日に Google Meet を使ってオンラインで行われた『県央地区高等学校探究学習発表会』に本校の代表として参加し、他校の生徒からの質問に答えるなどして、立派にその任を果たしました。

2022（R4）から本格実施となる新しい指導要領では、全教科にわたって「探究的な学習」が大きな柱とされています。「自分の興味を探究する中で世の中の課題を見つけ、答のない問題に人と協働しながら解決策を模索する力。」これが、新時代に求められている学力です。

75 期生と学年団の今後の成長、活躍がとても楽しみです。

この翌日 19 日の土曜日には、2 学年の保護者を対象にした『修学旅行説明会』を実施いたしました。50 名ほどの保護者の皆さまが来てくださり、校長あいさつ、学校担当教諭および旅行業者さんからの説明をさせていただきました。最後の質疑応答では、保護者の皆様から的確な質問をいただき大変ありがたかったです。参加できなかった保護者の皆様には、Youtube でご覧いただけるようにしました。

下旬には人形浄瑠璃部の来年度の全国大会出場が決まった!との嬉しい知らせが届きました。放送での終業式には、陸上部、弓道部、ハンドボール部、吹奏楽部の部活動や、標語に短歌に俳句と多くの生徒の表彰を行い、「大変な年だったのに、みんな頑張ったんだなあ」と改めて生徒の取組に感激しました。

最後は、華道部さんが折々に職員玄関に生けてくださるお花です。12 月らしい色合いですね。

県立高校生のコロナ感染も徐々に増えてきた 12 月でした。年末年始に向かい、事態の一日も早い終息を祈るばかりです。「良いお年」でなくてもいい、「普通の平凡なお年」でいい…と願う年の瀬でした。